



自動登録

自動登録は、IP テレフォニー ネットワークに接続した新しいデバイスに、電話番号を自動的に割り当てる機能です。この章の構成は、次のとおりです。

- [自動登録の概要 \(P.12-2\)](#)
- [自動登録の設定チェックリスト \(P.12-4\)](#)
- [複数プロトコル サポートによる自動登録 \(P.12-3\)](#)
- [参考情報 \(P.12-5\)](#)

自動登録の概要

Cisco CallManager の自動登録を使用すると、新しい電話機をネットワークに接続したときに、それらの電話機に電話番号が自動的に割り当てられます。自動登録を使用してネットワークに割り当てられた電話機は、100 台未満にすることをお勧めします。

Cisco CallManager の自動登録では、デフォルトで使用不可にして無許可でネットワークへ接続することを防止しています。自動登録を使用可能にするのは、コーリングサーチスペースやパーティションなど、ダイヤルプランの概要が判明してからにしてください。



注意

自動登録を使用可能にすると、「不正な」電話機が Cisco CallManager に自動的に登録されるセキュリティ上の危険が生じます。自動登録を使用可能にする場合は、電話機を一括して追加する場合に限定してください。

Cisco CTL クライアントを使用してクラスタ全体のセキュリティを混合モードに設定すると、自動的に自動登録は使用不可になります。自動登録を使用しながらセキュリティを設定する場合は、Cisco CTL クライアントを使用してクラスタ全体のセキュリティモードを非セキュアに変更する必要があります。

無許可の電話機がネットワークに接続することを防止するもう 1 つの方法では、911（緊急）と 0（オペレータ）コールだけを許可する Rogue デバイスプールの作成が必要となります。このデバイスプールでは、電話機の登録が許可されますが、電話機は緊急コールとオペレータコールしか行うことができません。このデバイスプールにより、ネットワークに登録しようとして連続的にブートする電話機の無許可のアクセスが防止されます。

自動登録を使用可能にする場合、電話機をネットワークに接続したときに Cisco CallManager が割り当てることができる電話番号の範囲を指定します。新しい電話機をネットワークに接続すると、Cisco CallManager は、指定された範囲内で次に使用可能な電話番号を割り当てます。電話機に自動登録で電話番号が割り当てられた後では、電話機を別の場所に移動してもその電話機の電話番号は変わりません。自動登録電話番号をすべて使い切った場合は、以後 Cisco CallManager に電話機を自動登録できなくなります。

Auto-registration Cisco CallManager Group チェックボックスがオンになっている Cisco CallManager グループによって、電話機が自動登録に使用する Cisco CallManager のリストが指定されます。グループ内で少なくとも 1 つの Cisco CallManager が選択されている必要があります。また、選択されたリスト内の最初の Cisco CallManager は、Cisco CallManager Configuration ウィンドウで Auto-registration Disabled on this Cisco CallManager チェックボックスがオフになっている必要もあります。これにより、Cisco CallManager が電話機からの自動登録要求を許可するようになります。

新しい電話機は、Auto-Registration Cisco CallManager Group 設定値を使用可能に設定してある Cisco CallManager グループ内のプライマリ Cisco CallManager に自動登録されます。そのプライマリ Cisco CallManager は、自動登録されたそれぞれの電話機を、デバイスタイプに応じたデフォルトのデバイスプールに自動的に割り当てます（『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「デバイスデフォルトの設定」の章を参照）。自動登録された電話機は、その設定を更新して、別のデバイスプールや別の Cisco CallManager に割り当てることができます（P.5-12 の「デバイスプール」を参照）。

複数プロトコルサポートによる自動登録

自動登録を行うと、不明な電話機がネットワークに参加することになります。そのような電話機は不明であることから、Cisco CallManager には新しい電話機を SIP と SCCP のどちらの電話機として登録すればよいのかがわかりません。そこで、システム管理者は Cisco CallManager Administration を使用して、新しい電話機が自動登録に使用するデフォルトプロトコルを指定します。

SIP と SCCP の両方のプロトコルをサポートするシスコのデバイス (IP Phone モデル 7905、7911、7912、7940、7941、7960、7961、7970、および 7971) は、Auto Registration Phone Protocol Enterprise Parameter で指定されたプロトコルで自動登録されます。単一のプロトコルだけをサポートするシスコのデバイスは、Auto Registration Phone Protocol の設定に関係なく、そのプロトコルで自動登録されます。たとえば、Cisco IP Phone 7902 は SCCP だけをサポートしています。Cisco IP Phone 7902 は、自動登録を行う場合、Auto Registration Phone Protocol が SIP に設定されていても SCCP プロトコルを使用します。



(注)

自動登録を正しく機能させるためには、Device Defaults Configuration ウィンドウで SIP および SCCP プロトコルに正しい電話機イメージ名が指定されている必要があります。

プロトコルが混在する環境に電話機を展開するには、新しい混合電話機群を自動登録するときに追加手順を実行する必要があります。最初の手順では、管理者は Enterprise Parameters Configuration ウィンドウで Cisco CallManager Auto Registration Protocol パラメータを SCCP に設定し、すべての SCCP 電話機をインストールする必要があります。2 番目の手順で、管理者は Auto Registration Protocol パラメータを SIP に変更し、すべての SIP 電話を自動登録する必要があります。

自動登録の設定チェックリスト

表 12-1 に、自動登録を使用する際の一般的な手順とガイドラインを示します。

表 12-1 自動登録の設定チェックリスト

設定ステップ		手順および関連項目
ステップ 1	Enterprise Parameters Configuration ウィンドウで、Auto Registration Phone Protocol を SIP または SCCP に設定します。SCCP がデフォルトとして機能するので、SIP 電話機を登録するときは、この設定を変更してください。	『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「エンタープライズパラメータの設定」
ステップ 2	クラスタ内で自動登録に使用する Cisco CallManager を 1 台だけ設定します。 自動登録の使用可能または使用不可の設定は、常にこの Cisco CallManager 上だけで行います。自動登録機能をクラスタ内の別の Cisco CallManager に移す場合は、該当する Cisco CallManager、デフォルト Cisco CallManager グループ、および場合によってはデフォルト デバイス プールを再設定する必要があります。	『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco CallManager の設定」
ステップ 3	デフォルトの Cisco CallManager グループ、または別の Cisco CallManager グループを自動登録グループとして設定します。ステップ 1 の自動登録用 Cisco CallManager をこのグループのプライマリ Cisco CallManager として選択します。	Cisco CallManager グループ (P.5-4) 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco CallManager グループの設定」
ステップ 4	自動登録専用のコーリング サーチ スペースを設定します。たとえば、自動登録コーリング サーチ スペースを使用して、自動登録された電話機を内部コールに限定できます。	パーティションおよびコーリング サーチ スペース (P.15-1) 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「コール検索スペース (コーリング サーチ スペース) の設定」
ステップ 5	デフォルト Cisco CallManager グループと自動登録コーリング サーチ スペースを割り当てることにより、自動登録用のデフォルト デバイス プールを設定します。デバイス タイプごとに別々のデフォルト デバイス プールを設定する場合は、Device Defaults Configuration ウィンドウを使用して、デバイスにデフォルトのデバイス プールを割り当てます。	システム レベルのコンフィギュレーション設定 (P.5-1) 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「デバイス プールの設定」 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「デバイス プールの設定」
ステップ 6	新しいデバイスを取り付けて自動登録する場合は、自動登録を短期間だけ (できれば、システム全体の使用量が最少のときに) 使用可能にします。その期間以外は、無許可のデバイスが Cisco CallManager に登録されることを防ぐため、自動登録をオフにします。	『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「自動登録の使用可能化」 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「自動登録の使用不可」
ステップ 7	自動登録するデバイスをインストールします。	IP Phone とゲートウェイに付属のインストールガイドを参照してください。

表 12-1 自動登録の設定チェックリスト（続き）

設定ステップ		手順および関連項目
ステップ 8	自動登録されたデバイスを再設定して、永続的なデバイスプールに割り当てます。	<p>『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco IP Phone の設定」</p> <p>『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「ゲートウェイの設定」</p>
ステップ 9	Enterprise Parameters Configuration ウィンドウで、Auto Registration Phone Protocol の設定値を SIP と SCCP のどちらか必要な方に設定します。別のプロトコルでさらに電話機を登録する必要がある場合は、この手順を繰り返します。	『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「エンタープライズパラメータの設定」

参考情報

関連項目

- システム レベルのコンフィギュレーション設定 (P.5-1)
- 冗長化 (P.7-1)
- SIP 回線側の概要 (P.41-16)
- 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco CallManager の設定」
- 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco CallManager グループの設定」
- 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「デバイス プールの設定」
- 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「エンタープライズパラメータの設定」

